

「法学を学んだ」ことの実績の証明に!!



法学検定試験

主催：法学検定試験委員会
公益財団法人日弁連法務研究財団
公益社団法人商事法務研究会

2026年11月29日(日)実施

- 出願期間：9月8日(火)～10月15日(木)
 - 願書提出締切：10月16日(金)消印有効
 - 受験料(税込)：
 - ベーシック〈基礎〉コース・・・・・・・・・・ 4,400円
 - スタンダード〈中級〉コース・・・・・・・・・・ 6,600円
 - アドバンスト〈上級〉コース・・・・・・・・・・ 9,900円
 - 併願 ベーシック・スタンダードセット*・・・・・・・・ 8,800円
 - 併願 スタンダード・アドバンストセット*・・・・ 13,200円
- *セット割引は2つのコースを同時に申し込んだ場合のみ適用されます

● 法学検定試験とは

『**法学の知識を客観的に評価する、日本唯一の全国規模の試験**』です。大学での単位認定だけでなく、企業への入社・配属時の参考資格など、さまざまな場面で活用されています。

● 主な受験者

法学部生を中心に、法科大学院生、公務員などの社会人等、法律に関わる多くの方々が受験しています。法学部生では主にベーシック〈基礎〉コースを1～2年生が、スタンダード〈中級〉コースを2～3年生が受験しています。学習が進んでいる方はアドバンスト〈上級〉コースにチャレンジしてみてください。

● 法学検定の活用

就活の際に履歴書に記入することができ、**法学部生としてしっかり学んだことを証明する材料**になります。

また、**宅建・行政書士・司法書士**などの法律資格や**公務員試験**を目指すための足固めとして非常に有益です。

もちろん、法科大学院や司法試験を目指す方にとっては、ステップアップに最適です。

法学既修者としての学力を有しているか否かの判定材料として、多くの法科大学院で法学検定試験の成績が参考とされています。



— 5つのメリット! —

- ① 授業前後の**予習復習ツール**として活用
- ② **試験前の知識確認**に最適
- ③ 自己の**学習到達度を確認**する指標
- ④ **就職試験でのアピール**材料
- ⑤ 法律資格や公務員試験のための**土台固め**

● 試験レベル・受験科目

ベーシック〈基礎〉コース

法学入門、憲法、民法、刑法

→法学の初学者がまずはおさえておくべき基礎的なレベル!

スタンダード〈中級〉コース

法学一般、憲法、民法、刑法、
選択(民訴、刑訴、商法、行政法、基本法総合から1科目)

→法学を学習する者が到達すべき必須レベル!!

アドバンスト〈上級〉コース

法学基礎論、憲法、民法、刑法、
選択A(民訴、刑訴、商法、行政法)から1科目、
選択A・B(労働法、破産法、経済法、知的財産法)から1科目

→法学を専門的に学ぶ者が目指すべき上級レベル!!!

● 法律出版社がバックアップ

後援：株式会社 三省堂、株式会社 商事法務、株式会社 有斐閣

効果的な学習のために・・・

ベーシック・スタンダードコースには**公式問題集**があります

⇒問題集をしっかりと学習していれば解ける問題が全体の**6～7割**出題されます！

公式問題集・過去問集

ベーシック<基礎>コース

レベル⇒法学部2年次程度
主な受験者：法学部1年次生～2年次生

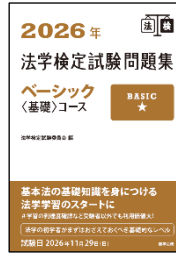
受験科目		試験時間
必須	法学入門 憲法 民法 刑法	120分

【4科目・合計60問】
科目＝法学入門10問/民法20問/その他各15問

合格率は例年、約60%!!

【学習教材：公式問題集+各科目の入門書】

『2026年法学検定試験問題集 ベーシック<基礎>コース』



定価 2,420円 (税込)

授業前後の予習復習ツールとして
問題集を利用しながら合格をめざそう

6～7割が問題集から出題*

詳細な解説付きで自習も可能！
問題集に取り組むことが合格への近道です！
*問題集の問題がそのまま出題されるとは限りません

スタンダード<中級>コース

レベル⇒標準的な法学部3年次程度
主な受験者：法学部2年次生～3年次生

受験科目		試験時間
必須	法学一般 憲法 民法 刑法	150分
選択	選択科目Aおよび基本法総合*から1科目	

【5科目・合計75問】
科目＝法学一般10問/民法20問/その他各15問

[選択科目A]
①民事訴訟法 ②刑事訴訟法 ③商法 ④行政法
必須4科目に加え1科目選択の5科目です

合格率は例年、約55%!!

【学習教材：公式問題集+各科目の教科書】

『2026年法学検定試験問題集スタンダード<中級>コース』



定価 4,290円 (税込)

・公務員試験などの受験を考える人の土台固めに
・自己の学習到達度を確認する指標として

6～7割が問題集から出題*

全8科目の問題が収録されているので
受験対策以外にも授業に有効活用可能！

***基本法総合は、憲法・民法・刑法から出題します**

問題集の憲法・民法・刑法の収録問題から6～7割が出題される他、やや難易度の高い問題や他の法分野との境界領域の問題も出題されます

アドバンスト<上級>コース

レベル⇒学習の進んでいる法学部3年次～修了程度
主な受験者：法律資格を目指す法学部生
法律実務に従事する公務員や法務スタッフ

受験科目		試験時間
必須	法学基礎論 憲法 民法 刑法	150分
選択	選択科目AおよびBから2科目*	

【6科目・合計55問】
受験科目＝法学基礎論10問中5問選択/その他各10問

[選択科目A]
①民事訴訟法 ②刑事訴訟法 ③商法 ④行政法
[選択科目B]
⑤労働法 ⑥破産法 ⑦経済法 ⑧知的財産法

*選択科目Aから少なくとも1科目選んでください
必須4科目に加え2科目選択の6科目です

合格率約20%の難関コース!!

【学習教材：公式過去問集+各科目の基本書+各種判例集】

『2026年法学検定試験過去問集アドバンスト<上級>コース』



定価 3,850円 (税込)

・より上位の法律資格や公務員試験を目指す方のステップとして
・意識の高い学生生活を送るために

過去3年分の過去問を収録
過去問で傾向に慣れよう！

過去問集のため、この中からの出題はありません
問題集ではありませんのでご注意ください

出願から成績通知までのフロー（個人申込の場合）

※団体出願については、申込み責任者に必ずご確認ください

出願書類配布開始
2026年9月～

■出願書類(受験要項・願書・専用封筒)の入手方法

- ①大学生協購買部・主要書店(取扱書店等)からの入手
…取扱書店等で無料配布します。
- ②公式ウェブサイト等での出願書類の請求
…公式ウェブサイトから出願書類の請求ができます(無料)。

出願受付開始
2026年9月8日

■申込みの方法

【郵送での申込み】

- ①受験料を取扱書店等へ支払う場合
取扱書店等で受験料を支払い、取扱書店等発行の「書店払込証書」と「願書」を「専用封筒」に入れて、法学検定試験委員会事務局へ郵送してください。
- ②受験料を指定口座へ振り込む場合
下記の銀行口座に受験料を振込み(ATM可・インターネットバンキング不可)、「振込金額」と「振込人氏名」が明記されている利用明細、振込証明書等の振込み証明書類「願書」を「専用封筒」に入れて、法学検定試験委員会事務局へ郵送してください。

出願受付終了

【郵送申込締切】

2026年10月15日

(16日消印有効)

【ウェブサイト、コンビニでの
申込締切】

2026年10月19日

※ウェブ申込+コンビニ決済
の場合は 10月15日

受験料振込先

みずほ銀行 銀座支店(普通)2275905
口座名 法学検定試験委員会事務局



【ウェブサイト、コンビニ(店頭設置機械)からの申込み】

受付期間中は、ウェブサイトの出願専用ページ(QRコードから直接アクセスできます)または全国のコンビニ(店頭設置機械)から直接、受験の申込みができます(締切日にご注意ください。ウェブサイトから申し込まれた場合、支払方法で締切日が異なります)。
ウェブサイト、コンビニ(店頭設置機械)から直接、受験を申し込まれた場合は、願書の郵送は不要です。

受験票の発送
2026年11月12日頃

■受験票の到着・写真の貼付

受験票は願書に記載された住所宛に、直接受験者に普通郵便で発送します(併願の場合、コースごとに1通ずつ)。受験日より6日前までに受験票が到着しない場合には法学検定試験委員会事務局までご連絡ください。
受験票には写真貼付欄(1カ所)がありますので、写真を貼付してください。写真の大きさは縦4cm×横3cmで6か月以内に写した無背景、上半身脱帽、正面の証明写真に限ります。写真のコピー、家庭用プリンターで普通紙に印刷したもの、プリクラ、サングラス着用、集合写真は認められず、成績通知書を発行いたしません。
試験当日に写真票は回収いたします。

試験当日
2026年11月29日

■試験当日の持ちもの

受験票(写真貼付欄1カ所)に写真貼付のこと、筆記用具(HB・Bの黒鉛筆、消しゴム)、腕時計(腕時計に準じるサイズの置き時計[10cm×10cm以内])は使用可)

試験結果発送
2027年1月5日頃

■試験結果の発送

試験結果は、願書に記載された住所宛に発送します(願書に記載された住所と現住所が異なる場合は、必ず郵便局に転送届をお出しください)

問題集を利用した勉強方法

【Study Plannerを使ってみよう！】

- ・ベーシック（基礎）コース問題集巻末Study Plannerを利用して苦手分野の洗い出し
- ・日々の勉強の可視化をすることでモチベーションの維持
- *公式ウェブサイトから、ベーシック・スタンダードコース用のStudy Plannerがダウンロードできます

計画

◇まず1週間の計画を立てよう！
今週の到達点を決めて、そのためにやることも書き出しておこう。ざっくりとでよいので一日に進めるペース配分も設定


実行

◇今週実行した分の結果の洗い出しとして、どのくらいが理解できていたかを書きだそう

Review

◇間違えたところや理解があいまいだった部分として教科書で確認すべき問題、頻出な重要論点と思われる問題を洗いだそう。あの論点はどのような問題として出題されるか、問題集に戻って振り返りが出来るように問題番号もメモ！重要な判例を書き出して、どの論点（問題）でに関するか、メモしておこう

【授業を中心に】

- ①授業で出てきたキーワードを基に問題集を復習として使う
民法の授業で「未成年」「保佐」「補助」を学習した→ベーシック問題集の下の方にあるキーワード  の「行為能力」「未成年者の行為能力」「成年後見」「保佐・補助」の問題を解いてみる
- ②間違えたところや理解があいまいだった部分を教科書で確認→キーワードを基に目次で該当箇所を復習（該当箇所が分からない場合や目次にないキーワードを調べたい場合は事項索引等から探す）→あいまいな部分の要点をノートに書きだす

【問題集を中心に】

- ①問題集を一通り解いてみる
偶然解けただけの問題に緑色の付箋
間違えた問題に黄色の付箋
解説を読んでもよくわからない問題に赤い付箋
- ②全問を解き終わったら緑色の付箋、黄色の付箋について問題・解説を再度読む
一通り読んだら、緑色、黄色付箋の問題を再度解く
不安が残る問題はメモに問題番号を記しておく
- ③赤い付箋の解説をよく読み、わかりづらいキーワードはノートに書きだす
ノートに書きだしたキーワードについて教科書等で調べる
- ④赤い付箋の問題をもう一度解いてみる
- ⑤再度①から繰り返す



法学検定試験問題集ベーシック基礎コース 達成シート | 1日目 | 10/10/2019

※使いかた： 解き終わったところから塗りつぶして行くこと、正解率計算は後で行うこと、正解率を高くしてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80

≧ 問題集巻末の達成シートで
進捗を可視化！

4月	5月・6月	7月・8月	9月・10月	11月	試験日
	1周日	確認・復習期	2周日	復習	本番
ガイダンス	間違えた問題、偶然解けただけの問題に付箋を付けながら問題集を一通り解いてみる	確認 間違えた問題、偶然解けた問題の確認	問題集2周日	復習 分からない問題がないかどうか復習	全力を尽くす

Study Plannerを使用した学習方法

Study Plannerを実際に使用した方の利用例と合格体験談



Study Planner Date: 5 / 13 ~ 5 / 18

○今週の目標・テーマ
問題の最低3題 済

Subject	Goal / Topic	To Do
法学入門	41~60問	正確に問題を解決す
憲法		
民法	21~30問	正確に問題を解決す
刑法		

Subject	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	Total
法学入門	5	5				5	5	20
憲法								
民法			5	5				10
刑法								

○今週の進捗

Subject	学習したNo.	解きたNo.	正解した/正解できなかったNo.
法学入門	41~60	48, 49, 49, 49, 50 51, 64, 64, 67, 69, 69	42, 50, 51, 57
憲法			
民法	21~30	21, 23, 25, 26, 30	23, 25, 27
刑法			

○今週の達成率
目標 20問 - 達成 17問
85%

Review Page
学習すべき点や苦手だと感じる点を書き留めておくこと。ポイントを買える化してあとで確認。

問題No. 備考 CheckPoint My Test

58	法解釈の目的は主として実務	実務の目的が目的であること	
42	民法の法理を解説	民法の法理を解説	
50	債権の発生	「100円」の債権の発生	
51	民事訴訟と刑事訴訟	民事訴訟と刑事訴訟	
57	行憲主義	行憲主義の3つの原則	
23	契約の有効性	契約の有効性	
25	代理権の消滅	代理権の消滅	
27	無効・取消	取消権の行使	

○よく読んでおくべき判例
41 最判1849・10/17民集28・10・2040

○進捗の目標と計画
正答率を上げる

この経験の源泉をおぼえておきたい。非役所生でなくても、川南は地元の努力で進んだ。また、英検や英検の知識が活かせる部活昇格も目指してみよう。

←ゼミの先生からコメントも



【合格体験談】

私は現在、大学法学部の2年生ですが、大学に入学した当初から法律についての知見を深めたいと考え、講義を受講し、基本書を読み返すなどしていました。しかし、このように学習を積み重ねたことによって、どれほど法学に対する習熟度が高まっているのかわかる指標がなく困っていました。そんなタイミングで出会ったのが法学検定でした。そのため、法学検定について知った際に、非常に強く感激したことを覚えています。そして、受験に対して非常に前向きな気持ちで臨むことができました。

また、私が法学検定を受験したきっかけとしては、本学の法学検定受験に向けての働きかけによる部分が大きいと感じています。私が最も印象強く感じたのは、本学の受験に対するサポートが非常に手厚かったということです。具体的には、講義の中で法学検定についての話題が取り上げられたり、きっちりと時間を確保した上で説明会が開催されたりと、受験に向けて十分な準備ができる環境が整っていたという点です。そして、法学検定の仕組みや受験方法といった初歩的な説明から、どのように勉強を進めればよいかといった対策の仕方まで、抜かりなく知ることができた点は、受験をする上で非常に心強かったです。また、説明会を通して、過去に本学の学生で個人賞を受賞された方がいることや、団体受験において本学が優秀な成績を残していることを知り、私もそのような良い成績を残したいと勉強の意欲を掻き立てられました。

しかし、1年生のとき試験問題集を見てみると、大学の講義で履修していない部分が多く出題されることに臆してしまい、受験することを躊躇してしまいました。だからこそ、出題される部分の大半を履修した状態で受験できる2年生では、絶対に良い成績を取ろうと決意しました。この経験のおかげで、部活やバイト等であまり勉強時間が確保できないときでも、スキマ時間を見つけて問題集に目を通すことができました。そして、この法学検定受験に向けての勉強を通して、目標を持って取り組むことの大切さを実感しました。

法学検定を受験したことは、私にとって非常に素晴らしい経験になりました。

オープンバッジ*の発行

ベーシック〈基礎〉コース、スタンダード〈中級〉コース、アドバンスト〈上級〉コースのexcellent合格者には各コースのexcellentバッジを、また、スタンダード〈中級〉コース、アドバンスト〈上級〉コースの通常合格者には各コースの合格バッジを発行いたします。対象者には試験結果通知時に受領手続のご案内をいたします。

*世界的な技術標準規格「IMS Global Learning Consortium」に準拠し、発行されるデジタル証明・認証



※バッジのデザインは変更になることがあります

2025年の出題例

【ベーシック〈基礎〉コースよりご紹介】 **Let's Challenge!** 正解はこのページの下にあります

①

日本国憲法の違憲審査制に関する以下の記述のうち、判例・通説の立場に照らして、誤っているものを1つ選びなさい。

1. 違憲審査を担当するのは最高裁判所だけであって、下級裁判所は違憲審査を行わない。
2. 違憲審査の対象となるのは法律のみではなく、命令、処分、条例も含まれる。
3. 違憲審査の結果、下される法令違憲判決には、法令を一般的に無効にする効力はない。
4. 違憲審査は、憲法の最高法規性を担保している。

(憲法 問題13)

②

権利能力に関する以下の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

1. 自然人の権利能力は、出生に始まる。
2. 胎児は、遺贈を受けたときは、その遺贈について、すでに生まれたものとみなされる。
3. 日本の法令に基づく権利は、日本人しか取得できない。
4. 自然人の権利能力は、死亡によって終了する。

(民法 問題1)

2025年の実施状況

●ベーシック〈基礎〉コースの志願者数・実受験者数・合格者数・合格率一覧

志願者数	受験者数	平均点(60点満点)	合格点(excellent)	合格者数(excellent)	合格率
4,613名	4,024名	35.8点	32点(48点)以上	2,639名(506名)	65.6%

●スタンダード〈中級〉コースの志願者数・実受験者数・合格者数・合格率一覧

志願者数	受験者数	平均点(75点満点)	合格点(excellent)	合格者(excellent)	合格率
1,682名	1,443名	43.3点	41点(59点)以上	826名(152名)	57.2%

●アドバンスト〈上級〉コースの志願者数・実受験者数・合格者数・合格率一覧

志願者数	受験者数	平均点(55点満点)	合格点(excellent)	合格者(excellent)	合格率
359名	294名	28.1点	34点(40点)以上	81名(24名)	27.6%

2025年表彰者一覧と表彰式の様子



ベーシック<基礎>コース (60点満点)

最優秀賞 清水友喜 (20歳) 茨城県 59点

優秀賞 富永侑里 (20代) 愛知県 58点	優秀賞 R・H (19歳) 岡山県 58点	優秀賞 H・M (60代) 岐阜県 58点
優秀賞 H・Y (34歳) 岐阜県 58点	優秀賞 A・O (20歳) 愛知県 57点	優秀賞 寛野克博 (70歳) 大阪府 57点
優秀賞 Y・S (30代) 57点	優秀賞 千野菜々美 (19歳) 東京都 57点	優秀賞 Y・H (19歳) 埼玉県 57点

スタンダード<中級>コース (75点満点)

最優秀賞 宮澤健 (44歳) 埼玉県 73点

優秀賞 石井謙次 (62歳) 岡山県 71点	優秀賞 井手雅紀 (40歳) 香川県 70点	優秀賞 合田貴紀 (34歳) 北海道 70点
---------------------------	---------------------------	---------------------------

アドバンスト<上級>コース (55点満点)

最優秀賞 北村 一夫 (60代) 京都府 48点

優秀賞 井手雅紀 (40歳) 香川県 46点	優秀賞 H・S (21歳) 神奈川県 46点	優秀賞 藤井友気 (32歳) 奈良県 45点
優秀賞 青柳直親 (20代) 44点	優秀賞 M・Y (60代) 大阪府 44点	

🏆 団体賞 (各コース20名以上受験の団体)

【合格率の部】

ベーシック<基礎>コース	
第1位 南山大学	92.9%
第2位 鹿児島大学法検受験プロジェクト	91.3%
第3位 新潟大学	89.2%

【合格者数の部】

ベーシック<基礎>コース	
第1位 大阪経済法科大学	164人
第2位 甲南大学	159人
第3位 新潟大学	148人

スタンダード<中級>コース	
第1位 新潟大学	73.9%
第2位 鹿児島大学法検受験プロジェクト	73.1%
第3位 明治学院大学	72.4%

スタンダード<中級>コース	
第1位 大阪経済法科大学	46人
第2位 熊本大学	42人
第3位 札幌学院大学	37人

アドバンスト<上級>コース

該当団体なし —

アドバンスト<上級>コース

該当団体なし —

🏆 グループ賞 (各コース10名以上のグループで合格者上位5人の平均点)

ベーシック<基礎>コース	
岡山大学法学部	53.0点

スタンダード<中級>コース	
茨城大学	62.8点

※グループ賞はアドバンストコースは該当なし

法学検定試験の概要

●「法学検定試験」とは

「法学検定試験」は、法学全般に関する学力水準を客観的に測る全国規模の国内唯一の検定試験として、法学検定試験委員会が2000年から実施する試験です。大学等で修得した法学的素養がどのようなレベルにあるかを客観的に証明するツールとして、法学部在学、出身か否かを問わず、毎年多くの学生や社会人等がチャレンジしています。

ベーシック〈基礎〉コース、スタンダード〈中級〉コース、アドバンスト〈上級〉コースの3つのコースがありますので、学習進度に応じてコースを選択し、徐々にステップアップしていくことが可能です。大学での単位認定、企業への入社や配属時等、さまざまな場面で利用されています。

● 法学検定試験委員（2026年4月現在）

◎ 委員長

高橋 宏志 公益財団法人日弁連法務研究財団名誉会長・東京大学名誉教授

○ 副委員長

神田 秀樹 公益社団法人商事法務研究会代表理事会長・東京大学名誉教授

委員（五十音順）

小幡 純子 日本大学教授

酒巻 匡 早稲田大学教授

中田 裕康 東京大学名誉教授・一橋大学名誉教授

井田 良 慶應義塾大学名誉教授

北村 雅史 関西大学教授

初宿 正典 京都大学名誉教授

安永 正昭 神戸大学名誉教授

★ 顧問

新堂 幸司 公益財団法人日弁連法務研究財団名誉会長・東京大学名誉教授

法学検定試験 各コース実施要領

・受験資格

「法学検定試験」は、どなたでも受験することができます。受験資格は一切問いません。

ベーシック〈基礎〉コースとスタンダード〈中級〉コース、スタンダード〈中級〉コースとアドバンスト〈上級〉コースは併願することができます。

・試験会場

一般会場と団体会場があります。詳細は9月上旬より配布の「受験要項」（公式ウェブサイトには4月頃掲載予定）をご参照ください。

・出題形式・解答方式

出題は多肢択一形式、解答方式はマークシート方式です。

・持ち物

受験票（写真を貼付のこと）、筆記用具（HB・Bの黒鉛筆、消しゴム）、腕時計（腕時計に準じるサイズの置き時計可）。

・試験時間

コース名	集合時刻	試験時間
ベーシック〈基礎〉コース	9:40	10:00～12:00(120分)
スタンダード〈中級〉コース	13:40	14:00～16:30(150分)
アドバンスト〈上級〉コース	9:40	10:00～12:30(150分)

お問い合わせ



法学検定試験委員会事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階

Tel : 03 (6262) 6730 受付時間 10:00～17:00（土・日・祝日は除く）

※お電話でのお問い合わせは受験者ご本人に限らせていただきます。
その他のお問い合わせはメールでお願いします。

E-Mail : houken_since2000@jimu-kyoku.net

✉@houken_since00

公式ウェブサイト : <https://www.shojihomu.or.jp/hougaku/index>

